

神国・日本を蘇らせる舞台ができる！

「ザ・ダ・ヴィンチ・アートプロジェクト」と「美しい国・日本を守る国民会議」

政財界を影で支えてきたお一人である日本経済人懇話会会長・神谷光徳氏は、安倍晋三元総理とも不思議なご縁があります。その神谷氏が今、親交を深めている一人が、安倍元総理の体調を令和4年（2022）1月からケアをしていた医師であり、アーティストとしても活動している末武信宏氏です。令和5年に神谷氏が立ち上げた「美しい国・日本を守る国民会議」において共に連合艦隊を作り、神国・日本を蘇らせようとしています。難問山積の日本に光を！

安倍晋三総理のお導き

神谷／優秀な医師であり、アーティストでもある末武信宏先生と親しくさせていただいているのも、まさに安倍晋三総理のお導きだと感じております。末武先生は、私も当初から関わっている「安倍晋三大人命御霊祭」の令和4年（2022）11月の初回から毎年



令和4年（2022）4月18日、日本経済人懇話会にて、安倍晋三氏と神谷光徳氏（日本経済人懇話会会長、「美しい国・日本を守る国民会議」発起人代表）。

ずっとご参列されていますね。

末武／安倍先生のお身体のケアをさせていただいたご縁で、御霊祭にはずっと参列させていただいています。直会での神谷会長のご挨拶には、いつも感動しております。

安倍先生の功績を知れば知るほど、日本という国に最も貢献した偉大な政治家であることを実感し、神様として祀るのは当然のことだと思ふのです。日本の憲政史上最も長く内閣総理大臣を勤め、多大な功績を残された安倍先生を神様としてお祀りしない方が逆におかしなことではないでしょうか。ですから、令和4年からの神田神社での御霊祭には素晴らしい意義を感じております。戦後初の、偉人を神様としてお祀りしていこう、という試みですから。

神谷会長はご自身の日本経済人懇話会で、第二次安倍内閣誕生の2年前に、安倍先生を奮い立たせる総



『次世代美容医療 × アート』
著者／末武信宏 発行／ロングセラーズ
価格／1,760 円（税込）

決起大会も行っているそうですね。神谷／その大会の最後では壇上の安倍さんに向かって、日本経済人懇話会の一番の若手が土下座し「もう一度、総理になつてください！」と何度もくり返しました。泣きながらの嘆願です。安倍さんも感動されたのか、心持ち身体を震わせているように我々には見えました。それも、第二次安倍内閣が誕生した一つのきっかけにはなっているのかもしれません。ベストセラー『約束の日ー安倍晋三試論』を出版して後押しした小川榮太郎氏も、日本経済人懇話会の会員だったのです。安倍さんには計3回、日本経済人懇話会で講演していただきました。最後は亡くなられる3ヶ月前の4月18日です。あの時は午後6時に来ていただき、30分、二人で

ゆっくりお話しました。そして、講演後も頼み込んで、私が招いた十数人の各界リーダーたち一人ひとりを紹介させていただきました。これは私の勝手な解釈なのですが、あんなに無理を聞いてくださったのは、最後のお別れだったからではないかと思うのです。



右から末武信宏氏（さかえクリニック院長、順天堂大学医学部非常勤講師、アーティスト）、神谷光徳氏（日本経済人懇話会会長、「美しい国・日本を守る国民会議」発起人代表）。末武氏のネクタイは、安倍晋三元総理からのプレゼントされたものです。

さかえクリニック院長 末武信宏 (すえたけ・のぶひろ)

昭和37（1962）年1月10日岐阜県生まれ。昭和62年、岐阜大学医学部卒業。平成8年（1996）、さかえクリニック開業（外科、内科、皮膚科、形成外科、美容外科）。平成23年、順天堂大学大学院医学研究科博士課程卒業。トップアスリート株式会社代表取締役就任。令和5年、ヒューマンテクノ株式会社代表取締役就任。先端医科学ウエルネスアカデミー（AMWA）副代表理事、日本美容内科学会理事、日本肺活協会理事、重碳酸温浴NO普及協会理事、第88回日本美容外科学会会長、JBC公認プロボクシングトレーナー。平成26年からアーティストとしての活動もスタート。令和5（2023）年11月24～26日、皇室御香華院御寺泉涌寺にて、世界的金箔アーティストのヒロト・ラクショウ氏と個展を共催。著書に『先端アンチエイジング医療』『アンチエイジング医療最前線』『次世代美容医療×アート』（ロングセラーズ）ほか。

日本経済人懇話会会長 神谷光徳 (かみや・みつのり)

昭和13年（1938）、神奈川県横浜市に生まれる。日本大学経済学部卒業。昭和55年（1980）、総合建設業（株）富士工入社。取締役副社長等を経て、平成12年（2000）6月、特別顧問に就任。西郷隆盛の「人を相手にせず、天を相手にせよ」が座右の銘。日本経済人懇話会会長。日本環境ビジネス推進機構理事長。平成医療学園顧問。NIC インターナショナル・カレッジ・イン・ジャパン顧問。株式会社エスリー顧問。宝塚医療大学客員教授。株式会社エシカルプロパティ 宅地建物取引士。著書に『感動は人生の成功を呼ぶ』（ロングセラーズ）。



令和7年（2025）11月4日、神田神社で執り行われた慰霊祭「安倍晋三大人命御霊祭」の直会で結びの挨拶を行う神谷光徳氏。

そして、安倍さんが凶弾に倒れた7月8日、その月の日本経済人懇話会の講師は高市早苗さんでした。数ヶ月前には決まっていたことですが、7月19日の講演でしたから、もしかしたら来られないかもしれないとも思いました。しかし、いらつしやいました。安倍さんの遺影に向かつて、みんなで黙祷したのです。

末武／なんと、すごい流れですね。

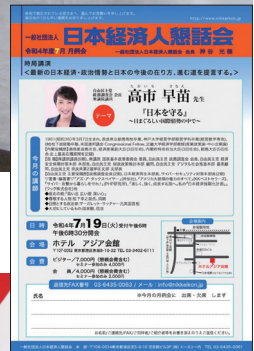
安倍先生の遺志を引き継ぐ高市政権が誕生し、私も、私のまわりの方々も大変喜び、そして少し安堵もしました。このままでは他国に侵略されてしまうのではないかと、

かなり危機感がありましたから。

実際のところ、日本は科学立国であつたのに、半導体、パソコン、携帯、様々な家電、AIと、今はあらゆるテクノロジーで立ち遅れてしまっています。テクノロジーは搾取され、ODA（政府開発援助）も含め莫大なお金を東南アジアやアフリカに投資してきたのに、それらがすべて某国に奪われたりしています。そういうことを立て直してくれる政治家が安倍さんであつたり、後を引き継いだ高市さんですから、日本人として、しっかりと応援する活動をしていかなければいけない、と思っております。



令和4年(2022)7月19日、日本経済人懇話会にて、安倍晋三元総理に追悼の言葉を述べる神谷光徳氏を見守る高市早苗氏。



令和4年(2022)7月19日、日本経済人懇話会での高市早苗氏の講演。テーマはくしくも「日本を守る」。



難病を抱えた激務の日々

神谷／末武先生は、おそらく安倍さんのお身体をケアした最後のお医者さんになるかと思うのですが、実際のところ、お身体具合はどうだったのでしょうか。

実は、第一次安倍内閣の秘書官である井上義行秘書官が私の学校の後輩であり、よく聞かされていたのです。彼は50数回、安倍さんと世界中を回りましたが、彼の一番の仕事は会談が行なわれる会場に前日入り、どこにトイレがあるのか把握し、そのトイレから一番近い位置に安倍さんに座ってもらうよう

にすること。これは自分の仕事であると、はつきり言っていました。

安倍さんのスピーチライターで、現在、日本会議会長になられた谷口智彦さんを令和4年11月に日本経済人懇話会にお迎えした際、控え室で谷口さんからもお話を伺いました。安倍さんは難病「潰瘍性大腸炎」を17、8歳の頃に発症し、60歳過ぎまで40数年間それに耐えて政治家を、そして総理大臣という激務をこなしてきたのです。あれだけの難病を抱えて、ずっと激務を続けてこられるなんて考えられないことだ、と谷口さんはくり返し言っていました。

それができたのは、何故か？この日本の国を思う気持ち、並大抵のものではなかったからなのです。

末武／まさに、おっしゃる通りだと思います。

私が初めて安倍先生にお会いしたのは、令和4年1月16日です。友人であるジャーナリストの岩田明子さんに「難治の症状が続いており、体調不良を押して公務をされているから、何とかならないか？」とのご相談を頂いたのです。安倍先生の持病と関連して発症した症状で、胸に激痛があり、痛み止めでは全く効果が無い状態でした。他の治療やケア法がないか、という依頼を受けご自宅へお伺いしたのです。

私はその状態を何とかするため、医師が通常行う治療ではなく、医療ヒーリングと半導体レーザー照射による痛みの緩和、治癒促進のケアをさせていただきました。すると劇的に良くなったのです。その後「すごく調子が良いので、完治させたいから定期的に来て欲しい」とご要請を受け、衆議院第一議員会館の安倍先生の事務所へ定期的に身体のケアに伺うことになりました。

ケアには10回以上お伺いしましたが、あれだけご多忙だったのに、時間の変更はあつても一度もキャンセルはありませんでした。7月13日もお会いして指導させていた

だく予約が入っていたのです。「いろんなところの選挙応援に行つて疲れるから、よろしくね」と言われていたのに、7月8日にあんなことになって……。

最初にお伺いした時に一番驚いたのは、安倍先生ほどの要人にドクターチームが付いていなかったことです。例えばトランプ、習近平にプーチンに金正日、そういった世界各国の要人は、何十人も超一流のドクターを揃えてチームで体調管理やケア、治療を行なっているはずで、最高峰の頭脳や技術や病院、本来ならあるべきそれらが一切無い、ということが分かつて驚愕したのです。

当時の安倍先生で問題だったのは、免疫力が低下されていたことです。しっかりと医療体制が整っているのか極めて疑問でした。政治の分野を支えるチームはあつたのでしようが、一番大事なものは、やはりお身体なのですから。

例えばオリンピックでも、金メダルを獲るような選手に対して、諸外国はチームで取り組んでいます。医者、整形外科医、トレーナー、セラピスト、心理療法士……、チームで勝つという戦略を国家レベルでやっているのです。しかし、日本にはそういう発想がほとんどなく、体制もありません。おそらく

軍事に関しても、戦闘機やいろんな兵器でハードは最高のものを揃えられても、ソフトウェアの部分でちゃんと軍事的な思考ができていないのか……。そういったソフトの面で日本人はかなり遅れている気がします。

迷走神経をアップデートする「肺活」

神谷／末武先生に教えられた、安倍さんの体調を改善された「肺活」を私もずっと続けております。

末武／安倍先生には直接、私がお

身体を触って「肺活」のトレーニング指導をさせていただきました。毎日のように安倍先生も続けられて、すごく元気になられたのです。

「肺活」は、人間のソフトウェアである迷走神経をアップデートするための最高のエクササイズです。私が非常勤講師を務めている順天堂大学医学部の小林弘幸教授と、20年以上かけて開発したものです。私たちの生命活動、例えば呼吸したり、心臓を動かしたり、消化したり、代謝や様々なホルモンの分泌、血圧や体温の調整、これらはすべて自律神経が行なっています。



右から末武信宏氏(さかえクリニック院長、順天堂大学医学部非常勤講師、アーティスト)、安倍昭恵氏。令和7年(2025)11月4日、神田神社で執り行われた慰霊祭「安倍晋三大人命御霊祭」の直会にて。



右から、世界的金箔アーティストのヒロト・ラクショウ氏、末武信宏氏。二人が手にしているのが末武氏のアート、さかえクリニックにて。



先生の考えです。私の方は、科学、解剖学、光学、テクノロジーを駆使したアートです。科学立国・日本をアートで表現できないかと、最先端のテクノロジーを使ったアートに10年くらい前から取り組んでいるのです。テーマは曼荼羅、宇宙、人類です。誰も見たことがない究極の美、綺麗な宇宙をアートで作りたいと取り組んでいます。

神谷／末武先生の作品も拝見さ

せていただきましたが、素晴らしいですね。
末武／医者としての活動だと、広がりには限られてしまっていますが、アーティストですと何万人、何十万人、何百万人へと拡散し、世界へも行けます。世界共通の言語が音楽とアートですから、アートなら日本人のすごさを世界で認めさせられます。日本人の優秀さを表す手段として、私はアートで日本に貢献

したいと思っていますのです。
神谷／アートで世界の人々を繋げて、日本を守る一つの世界的な舞台を作れるのではないのでしょうか。私も今「美しい国・日本を守る国民会議」という、安倍さんを真ん中にした「終活」をやっているのだと思っています。

末武／そうですね。安倍先生の遺志を継いで、私も日本のためにできる限りのことをしたい。医者

あるいは科学者という今までの実績をバックグラウンドにしたアーティスト活動が、一番日本にも貢献できるかな、と考えて一生懸命やっているのです。
神谷／10回以上もお身体を触って施術しているのですから、末武先生にも安倍さんの思いは現れてくるのではないのでしょうか。「美しい国・日本を守る国民会議」を、よろしく願っています。

令和5年（2023）11月24～26日、皇室御香華院御寺泉涌寺にて、末武信宏氏がヒロト・ラクショウ氏と共催した個展の様子。

その中でも迷走神経という自律神経でも一番重要な神経が、ほとんどの臓器や脳、声帯、咽頭をコントロールしています。健康や病気に関することだけでなく、集中力など脳の様々な活動に関わっているのです。
ですから、その迷走神経が活性化されると、免疫機能や呼吸機能も上がりますし、疲労感も取れ、頭もクリアになり、腸内細菌叢のバランスも整います。身体のあるゆる不調や疾患が改善し、集中力も向上することは世界中の研究でエビデンスがある医学的事実として確認されています。私は迷走神経を強化するという研究を25年間、小林教授とやってきまして、その最終的な形が「肺活」という、呼吸とエクササイズで分担して神経を刺激する方法なのです。

神谷／末武先生の舞台は、これからはますます大きくなっていくと思います。神様になられた安倍さんからサインが送られてくるでしょう。末武先生から、日本を守るための

ソフトとして、優れた医療チームや超能力の研究の話を聞かれた時は、目から鱗でした。先生だからこそできるプロジェクトがあると思いますので、ぜひ一緒に取り組みさせていただけます。末武／アメリカやイギリス、ロシアや中国は、医師や一流の科学者たちを集めて超能力の研究もしています。スポーツや学問の分野だけでなく、特殊な能力を持った人材をさらにトレーニングし、能力を伸ばし、国家のためにサポートしてもらおうプログラムや体制が整っているのです。軍事に関わるような、超能力者の研修トレーニングも行っているでしょう。ところが、日本にはそのようなものはありません。一時、防衛大学には超心理学教室というものがあつたのですが……。

私たちは大学で超人を作るというプロジェクトもやっています、人間のソフトウェアである自律神経、一番重要な迷走神経を強化すれば、先ほども述べましたが健康になり集中力も上がり腸内細菌叢も変わる。アスリートはパフォーマンスも向上するし、超人、超能力者にもなるのです。それは、見えないものを察知する能力、危機管理能力にも繋がると、私は確信しています。ですから、トップクラスの医師

たちや、特殊な技術とかスキルを持った専門家たちが集まってチームを作り、高市さんや、日本を愛する政治家を支えていけるようなソフト面での体制ができれば、と私は考えております。
神谷／令和5年（2023）の「安倍晋三夫人命御霊祭」で、私が発起人代表となり「美しい国・日本を守る国民会議」を立ち上げ、昭恵さんには会長になっていただきました。令和6年の御霊祭では「3000人が集う会にする」と宣言したのですが、そのまましばらく体調を崩してしまいました。
末武／私も毎回参列させていたでいてるので、その経緯は拝見しております。

神谷／末武先生に教えられた「肺活」のおかげもあり、今、体調も万全になりました。これから命がけで日本のために連合艦隊を作っていきたい、先生もぜひ一緒に一緒にいただければ、と思います。先生は、昭恵さんと親しい世界的アーティストの方とも一緒にプロジェクトをされているそうですね。
末武／令和7年11月に京都・清水寺で昭恵さんと展示会を行ったヒ

ロト・ラクショウ先生ですね。ラクショウ先生は、安倍先生が伊勢志摩サミットの晩餐会で各国首脳に披露した尾形光琳作の屏風、それを復元した世界的金箔アーティストです。トランプ大統領、プーチン大統領、ネパールの国王、ビル・ゲイツも先生の作品を持っています。桂由美さん、人気漫画『宇宙兄弟』、『ジバンシイ』というフランスのハイブランドともコラボしていますし、新進気鋭の日本人アーティストとしてはトップと言っていると思います。
そのラクショウ先生が「一緒にやろう」と、美大も出てない、アーティストとしては実績ゼロの私の作品を「世界へ行ける」と評価してくれたのです。そして令和5年11月、皇室と関わりの深いお寺・泉涌寺で、私の初の個展を彼と一緒にやらせていただきました。

ラクショウ先生とは「ザ・ダ・ヴィンチ・アートプロジェクト」という商標登録も一緒に取りまして、ダ・ヴィンチの再来を日本人がやってやろうと活動しております。人類史上最高のアーティストと称されているのが、レオナルド・ダ・ヴィンチですから。
日本工芸の素晴らしさをアートに昇華させ、それを海外にも広げていこう、というのがラクショウ